

東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る事後調査報告書平成30年3月分の正誤表

下記のとおり、追記するとともに誤記について訂正いたします。

(誤)

表4 測定結果(熱回収施設煙道)

	項目		計画値	1回目	2回目	・・・	6回目
				平成30年 2月17日	平成30年 3月20日		年月日
1号炉	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h		23,000		
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)		20,400 (25,151)		
	排ガス 濃度 (O ₂ 12%換算 値)	硫黄酸化物	20ppm		<1		
		窒素酸化物	30ppm		13		
		ばいじん	10mg/m ³ _N		<1		
		塩化水素	20ppm		2		
		水銀	0.05mg/m ³ _N		<0.003		
		ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N		0.0020		
2号炉	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h	18,100			
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)	15,100 (12,468)			
	排ガス 濃度 (O ₂ 12%換算 値)	硫黄酸化物	20ppm	2			
		窒素酸化物	30ppm	17			
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1			
		塩化水素	20ppm	4			
		水銀	0.05mg/m ³ _N	<0.003			
		ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.00027			

※2月未測定の1号炉のみ測定。

(正)

表 4 測定結果（熱回収施設煙道）

	項目		計画値	1 回目	2 回目	・ ・ ・	6 回目
				平成 30 年 2 月 17 日	平成 30 年 3 月 20 日		年月日
1 号 炉	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h		23,000		
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)		20,400 (15,867)		
	排ガス 濃度 (O ₂ 12%換算 値)	硫黄酸化物	20ppm		<1		
		窒素酸化物	30ppm		17		
		ばいじん	10mg/m ³ _N		<1		
		塩化水素	20ppm		2		
		水銀	0.05mg/m ³ _N		<0.003		
		ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N		0.0020		
2 号 炉	排ガス量	湿りガス量	30,100 m ³ _N /h	18,100			
		乾きガス量 (O ₂ 12%換算値)	26,100 m ³ _N /h (20,000 m ³ _N /h)	15,100 (16,107)			
	排ガス 濃度 (O ₂ 12%換算 値)	硫黄酸化物	20ppm	2			
		窒素酸化物	30ppm	17			
		ばいじん	10mg/m ³ _N	<1			
		塩化水素	20ppm	4			
		水銀	0.05mg/m ³ _N	<0.003			
		ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ _N	0.00027			

※2 月末測定のみ測定。

※<は定量下限値未満であることを示す。

(誤)

(4) 地球環境

燃料消費量及び温室効果ガス排出量の測定を実施した。

① 測定期間

平成30年2月1日から平成30年3月31日

② 測定結果

燃料消費量の結果を表6-1に、温室効果ガス排出量の結果を表6-2にそれぞれ示す。

③ 結果の検証

燃料消費量及び温室効果ガス排出量については、実際の使用状況により計画値に対して下回っていない項目も見受けられるが、合計において計画値を下回っていた。

(正)

(4) 地球環境

燃料消費量及び温室効果ガス排出量の測定を実施した。

① 測定期間

平成30年2月1日から平成30年3月31日

② 測定結果

燃料消費量の結果を表6-1に、温室効果ガス排出量の結果を表6-2にそれぞれ示す。

③ 結果の検証

温室効果ガス排出量については、実績が計画値に対して下回っている項目も見受けられるが、合計において計画値を上回っていた。主要な要因は、プラスチック由来の排出量が計画値を上回ったことである。

(誤)

表 6－1 燃料消費量の結果

平成 29 年度（平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の数量

燃料等の種類			単位	計画値 2 ヶ月分	平成 29 年度
熱回収施設	ごみ由来	<u>ごみ</u>	t	<u>4,978</u>	<u>4,146.82</u>
		<u>プラスチック</u>	t	554	<u>573.14</u>
	燃料の使用	ガソリン	L	210	347.33
		灯油	L	5,000	4,394
		電気使用量	kWh	0(自家発電)	2,137
	熱の有効利用削減分	売電量	kWh	716,800	942,714
リサイクル施設	燃料の使用	軽油	L	784	718.4
		ガソリン	L	－	660
		電気使用量	kW	0(自家発電)	0

※熱回収施設の電気使用量はリサイクル施設の電気使用量を含む。リサイクル施設において、ガソリンの使用量は重機が稼働したことによるもの。

表 6－2 温室効果ガス排出量の結果

平成 29 年度（平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の数量（t-CO₂/年）

区分	発生行為	燃料等の種類	温室効果ガスの種類	計画値 2 ヶ月分	平成 29 年度
施設の稼働	ごみ由来	<u>ごみ</u>	CH ₄ +N ₂ O	<u>88</u>	<u>73</u>
		<u>プラスチック</u>	CO ₂	1,533	<u>1,588</u>
	燃料の使用	ガソリン	CO ₂	1	<u>3</u>
		軽油	CO ₂	3	<u>2</u>
		灯油	CO ₂	13	<u>11</u>
		電気使用量	CO ₂	0	1
	熱の有効利用	売電量	CO ₂	-223	<u>-294</u>
	合計		CO ₂	<u>1,415</u>	<u>1,384</u>

(正)

表 6－1 燃料消費量の結果

平成 29 年度（平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の数量

燃料等の種類			単位	計画値 2 ヶ月分	平成 29 年度
熱回収施設	ごみ由来	<u>プラスチック以外のごみ</u>	t	<u>4,425</u>	<u>3,789.40</u>
		<u>プラスチック</u>	t	554	<u>930.56</u>
	燃料の使用	ガソリン	L	210	347.33
		灯油	L	5,000	4,394
		電気使用量	kWh	0(自家発電)	2,137
	熱の有効利用削減分	売電量	kWh	716,800	942,714
リサイクル施設	燃料の使用	軽油	L	784	718.4
		ガソリン	L	－	660
		電気使用量	kW	0(自家発電)	0

※熱回収施設の電気使用量はリサイクル施設の電気使用量を含む。リサイクル施設において、ガソリンの使用量は重機が稼働したことによるもの。

表 6－2 温室効果ガス排出量の結果

平成 29 年度（平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の数量（t－CO₂／年）

区分	発生行為	燃料等の種類	温室効果ガスの種類	計画値 2 ヶ月分	平成 29 年度
施設の稼働	ごみ由来	<u>プラスチック以外のごみ</u>	CH ₄ ＋N ₂ O	<u>78</u>	<u>64</u>
		<u>プラスチック</u>	CO ₂	1,533	<u>2,577</u>
	燃料の使用	ガソリン	CO ₂	1	<u>2</u>
		軽油	CO ₂	3	<u>1</u>
		灯油	CO ₂	13	<u>10</u>
		電気使用量	CO ₂	0	1
	熱の有効利用	売電量	CO ₂	-223	<u>-479</u>
	合計		CO ₂	<u>1,405</u>	<u>2,176</u>